

## 若手社員中心に9人 日々の社内技術発表会

さく井工事や井戸メンテナンスなどを手掛ける日さく(さ)いたま市、若林直樹社長は、2022年度第1回社内



技術発表会をオンライン形式で開いた。写真。全国各事業所・部門から新入社員や外国籍社員を含む若手社員を中心に9人が発表した。役員や従業員ら100人以上が全国の事業所や現場、自宅などで聴講した。同社が目指す「役職・立場に関わらず誰でも臆せず挑戦できる環境」が浸透していることが実感できる発表会となった。

社内技術発表会は前年度に初めてオンラインで開いた。今回は社員が参加しやすいように開催時間を短縮し、上期と下期の年2回の開催に変更した。最優秀賞と優秀賞を聴講者によるアンケートをもとに実行委員会で決定した。

若林社長は「日常業務の成果を発信することで、一人ひとりのレベルアップ向上につながっているため、発表会を継続し、さらなる技術力向上を目指してほしい。お客さまの困りごとを自分の困りごとのように対応し、お客さまから共感を得られるように努めてほしい」と要請した。

最優秀賞と優秀賞のテーマは次のとおり。

△最優秀賞▽微動アレー探査を用いた地下水開発。

△優秀賞▽浄水場内取水井及び配管の更新工事について▽多様な方法による既設井戸内調査。

